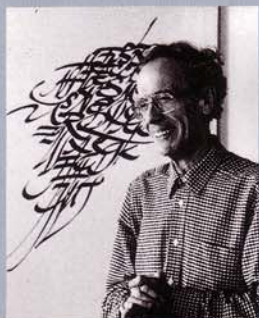


FRANCE ROGER DRUET

ロジェ・ドリュエ

～都会的で最も洗練されたカリグラフィー～



●経歴=1927年パリ生まれ。学歴/装飾美術学校(美術学校にて建築学を学ぶ)、エコール・デュ・ルーヴル卒。受賞/教育功労勲章、ジャン・ピカール・ルドゥー賞(タペストリー)。所属団体/パリ装飾学校教授、国際活版印刷協会会員。グループ展/デッサンと水彩画のサロン(マルヌ・ラ・ヴァレー)、文化センター(トゥルーズ、コルペーユなど)。個展/フォントヴロー修道院、モンリュソン、カーン、パリの画廊、サン・プリューなど。92年:東京芸術大学(パリ東京姉妹都市10周年記念)。フリーのグラフィックデザイン活動/雑誌のレイアウト(フィガロ、アダン、ルヴェ・ド・ローム)、アート・ディレクター(キスター・リコルディ出版)、ランゲラーン&セルフ・エージェンシーと提携、ファッション関係のレタリング(クリスチャン・ディオール)。本の挿し絵/文:ビュトル、ルネ・シャル、ギュヴィック、プリアンス。著作/『カサンドル』、『ミシェル・ビュトル』、『ロラン・バルト』、『アンドレ・ショルール』など。1990年からギャラリー・アリアスに常設展示。



墨絵及びカリグラフィー、タペストリー。水彩画もある

墨

絵や水彩画によって優れたカリグラフィーやタペストリーの作品を発表し続けているロジェ・ドリュエ氏は、その穏やかな風貌の中に驚くべきパワーとアーティストとしての研ぎ澄まされた感性を秘め、多方面で精力的な創作活動を見せている。1927年パリに生まれた氏は、エコール・デュ・ルーヴルを経て、現在はパリ装飾学校の教授を務める傍ら、フリーのグラフィックデザイナーとして、その多才な側面を

世に知らしめている。氏は、キスター・リコルディ出版のアート・ディレクターでもあり、フィガロ、アダン、ルヴェ・ド・ロームなどの雑誌のレイアウトを手掛けるほか、クリスチャン・ディオールなどのファッション関係のレタリングも担当している。また、多くの作家たちに望まれ、彼らの著作物に挿絵を提供する一方、氏自身も『カサンドル』『ミシェル・ビュトル』『ロラン・バルト』『アンドレ・ショルール』等の著書を発表している。氏の

作品は、墨やタペストリーといった伝統的な表現手法を用いながらも、その印象は決してフォークロアなものではなく、むしろ限りなく都会的でアーティスティックである。現代のライフスタイルの中に違和感なく溶け込む氏の作品が多くの人々に愛され支持されるゆえんであろう。タペストリーではジャン・ピカール・ルドゥー賞を受賞しており、これら作品の多くが、90年よりギャラリー・アリアスにて常設展示されている。